

支えてもらったから

越してきました。知

りました。

知らない土地で初めての一人暮らし、周りには知り合いが居ない環境で新生活を始めることに寂しさや不安を感じていたことを覚えています。

寂しさと不安を抱えた新生活が始まり、気が付けば3年が経過していまし

た。名寄市立大学で過ごす大学生活も残り1年を切り、次のステージについて真剣に考える時期にな

名寄で過ごす大学生活は同級生や後輩、地域の方など様々な方に支えていただき、多くの経験を

得る大学生活だったと思います。特にサークル活動に関して

はそれが顕著に現れていると思います。

私は主に「なにいろ研究室」と「天文サークル」で活動を行っていました。「なにいろ研究室」では、な

や商店街でのハロウ

インイベントでの子

ども向けの縁日の企

画・運営、天文サーク

ルでは大学祭でのプ

ラネタリウム展示や

すぐろくブースの展

示とどちらのサーク

ル活動でもイベント

を企画・運営する機

会がありました。

なにいろ研究室で

子ども縁日を開催す

るときには、仲間と

どのような工夫をす

れば子どもたちに楽

しんでもらえるかを



考えてどのような出し物をするかを考えていました。学科学

年が違う仲間で、どのように工夫すればより良いものができ

るのかを話し合い、試作をしながら縁日が成功するように協力をしていました。また、天文サーク

ルでプラネタリウムを展示する際には、天文台の職員さんに

星座の位置について教えていただいたり、星にまつわる話を教えていただいたりして自分たちでも

星空を解説できるようにバックアップしていただきました。

方への感謝の気持ちが湧いてきます。

残り一年、これまで支えてくださった方々に感謝をお伝えし、この活動によっ

てできたつながりを大切にしながら過ごしたいと思います。社会福祉学科4年 岩田仁樹

私は、大学進学を機に茨城県水戸市からこの名寄市に引

どのイベン

トも終了した

後、楽しかつ

たという声や

よかったとい

う声が聞こえ

る度にうれし

い気持ちと協

力してくれた

仲間や地域の